



廣瀬雄二氏

岸達也氏

谷本和也氏

渡辺功一郎氏

歴代支部長座談会 シリーズ①

『歴代支部長の支部長当時を振り返って』
～例会づくりについて～

【出席】

(株)植木センター広瀬
代表取締役**廣瀬 雄二氏**
(高松第7支部)(株)エースユニフォーム
代表取締役**岸 達也氏**
(高松第9支部)(株)谷本建設
専務取締役**谷本 和也氏**
(中讃第1支部)

【司会】 広報・情報化委員会

ダイレクト(株)
代表取締役**渡辺 功一郎氏**
(三木支部)

例会づくりについて

司会 本日は「例会づくり」について、歴代支部長の皆さんにお集まりいただきました。体験談を踏まえて、どんな取り組みをしてきたか等々について、お話しを伺いたいと思います。まず広瀬さんからよろしくお願いします。

廣瀬 例会のつくり方を真剣に考えようという話し合いを何度もしました。例えば、名前が売れている人を報告者を選びがちですが、人ありきではなく、何を学ぶかをきちんと決め、それを学ぶためには誰の経験を聞かせてもらうかを決める。

そういうふうにつくり方に対する考え方を少しずつ変えていくことを意識しました。**司会** その頃に支部長をされていた岸さんは、例会づくりについてどんな考え方を持っていましたか？

岸 例会は目的ではなく手段

と考えていて、例会よりも例会づくりが大切だと考えていました。

その理由は、様々な考え方や意見を一方通行ではなく、双方向でぶつけ合える場だと考えてです。その為に、より多くの人に例会づくりに参加してもらい、様々な考え方を発信してもらい議論する事を重視しました。またそれは、会員同士の関係性も深まり、互いに相談し合える仲間になる。それが学びや気づき、そして行動に繋がると考えています。

谷本 私の場合、支部長になったときに役員会を活性化しようと考えました。役員会が活性化すれば、そこで例会の話をして皆に興味を持ってもらおうと思ったので、役員会を皆んなのものにしたいというのが私の方針でした。皆んなが楽しみながら役員会や例会に参加するのが大事だろうと思います。

例会はよく商品だと言われましたが、その部分は大切にしなければならぬと思っています。

岸 たしかに谷本さんの言う通り、商品は大事にしなければと思っっています。商品が良ければ人が集まる組織になると思います。そういう意味で増強と活性は両輪だと思います。ただ、同じ大きさの車輪でなければ前に進まないとも考えています。

谷本 支部長になったとき、支部の全会員を訪問しました。特別大きな目的があつたわけではありませんが、訪問を続けていると新しい発見がたくさんありました。

その一つに会員企業さんが抱えている課題や見えてきたことがあります。課題がわかると、今度の例会にはぜひ参加してもらって報告者の話を聞いて欲しいと強く考えたり、今回のテーマはあの人の仕事

にぴったりだからぜひ来てもらおうとか、いろんなことを考え実行しました。それによつて会員間の繋がりがずいぶん濃くなったように思います。

廣瀬 同友会のスタートはまず支部なので、基本的には支部に所属して、支部の例会に参加し、そこから委員会に広がっていくので、支部で学んで、それから委員会のことを知ってもらおうというところが大事にしたいと思っています。

例会づくりのポイント
司会 支部長が自分の支部を

活性化するために何が必要だと思いますか？

廣瀬 個の力ではなく、先ほど役員会を盛り上げると言っていました。そこで活躍している人をたくさん使っていく取り組みと、あとは定着です。

委員長時代のことを言わせてもらおうと毎月オリエンテーションをやりましたが、その

ときは先輩会員にずいぶん助けてもらいました。ただ、入会したからには一回でも支部の

例会に来て欲しいし、来てもらえたらそのチャンスを生かすために、毎回しっかりと商品・企画を立て、いつ例会に来て外れがないというものにしてほしいという話をいつもしていました。

司会 支部としての目標はありましたか？ 皆んなでこれを目指そうとか、ここまで行くよとか、そんなものがあり



ましたか？

谷本 私は初めから皆さんと一緒に伸びよう！という気持ちで関わりました。そのため何からでも学べるようにしよう！と考えました。

例えば報告者や参加者の話し方や、魅力的な運営など、いろいろあるので、いわゆる同友会の使い方をもみんなにレクチャーしました。

廣瀬 逆の場合もあって、例えば話が面白くなかったときは、何で面白くないのかを考え、それを反面教師にすることもできるし、興味深い話のときはそれを生かしたり、さらに追及して実践することができます。

学びに対する貪欲さや関与に対する意識が高ければ、何からでも学べるので、そういう姿勢で参加できるかどうかも大事ですね。

岸 支部の一体感を得るために全員参画型の例会を意識し



ました。その為の例会の作り込みであったり、グループ討論です。

最初にグループ討論のテーマを決めて、そのテーマに沿って報告者に問題提起をお願いしました。この討論テーマを決めるのに打ち合わせの大半の時間を割いたと思います。そして、それを深掘りする

のがグループ長の役割なので、グループ長の育成は有意義な例会にする為の最重要課題だと考えています。

司会 落としどころ云々という議論もありましたね。

廣瀬 ありました。ただ、

あまり広がると、まとまらなくなってしまうという危惧があります。

谷本 私はほとんどの支部の人と話をさせてもらいましたが、それぞれの支部のやり方があって非常に勉強になりました。そんな中で支部長の役割についても学びや気づきがたくさんありました。

支部長時代の かけがえのない経験

司会 例会をつくっていく中にもう一段階上の学びがあったというか、例えば皆さんと一緒に県外の報告者と打ち合わせのために出かけますが、往復の道中での密な会話はとても貴重な経験だと思うのですが、皆さんはいかがでしたか？

廣瀬 例会づくりの過程の中で築かれる人間関係や相互の信頼感など、体験しなければ得られないものがたくさんあります。ゴールも大事ですが、



その過程も大事にして欲しいですね。

谷本 本場に濃い関係ができていましたよね。

岸 支部の仲間とはいろいろな思い出があります。

司会 ところで、支部長経験者の皆さんですが、ご自分の経験からアドバイスなどがあればお願いいたします。

廣瀬 ある会員さんに直接誘われて参加した会がきっかけで、支部例会に顔を出したりするようになりましたが、例えづくりに関しては、いろいろなやり方があるといいと思います。

岸 目標を設定し、それに向

かって全員で力を合わせ、そんな中でいろいろな考え方が出てきて、

そして行動する事が大切だと思えます。行動しないとわからないところがあるので、それはそれで

やってみれば違う答えが見つかるかもしれません。

廣瀬 同友会には同友会の存在の目的や意義があるわけじゃないですか。そこさえずれてなければいいと思えます。

岸 それぞれが上手に活用されたらいいように思います。まずやってみて、うまくいけばやり方が合っているし、逆

なら間違っているの、そういうことを検証すれば良いと思えます。

廣瀬 やっている人が一番学べるので、それを周囲に広めていければ、皆んなが学べることになりますよね。

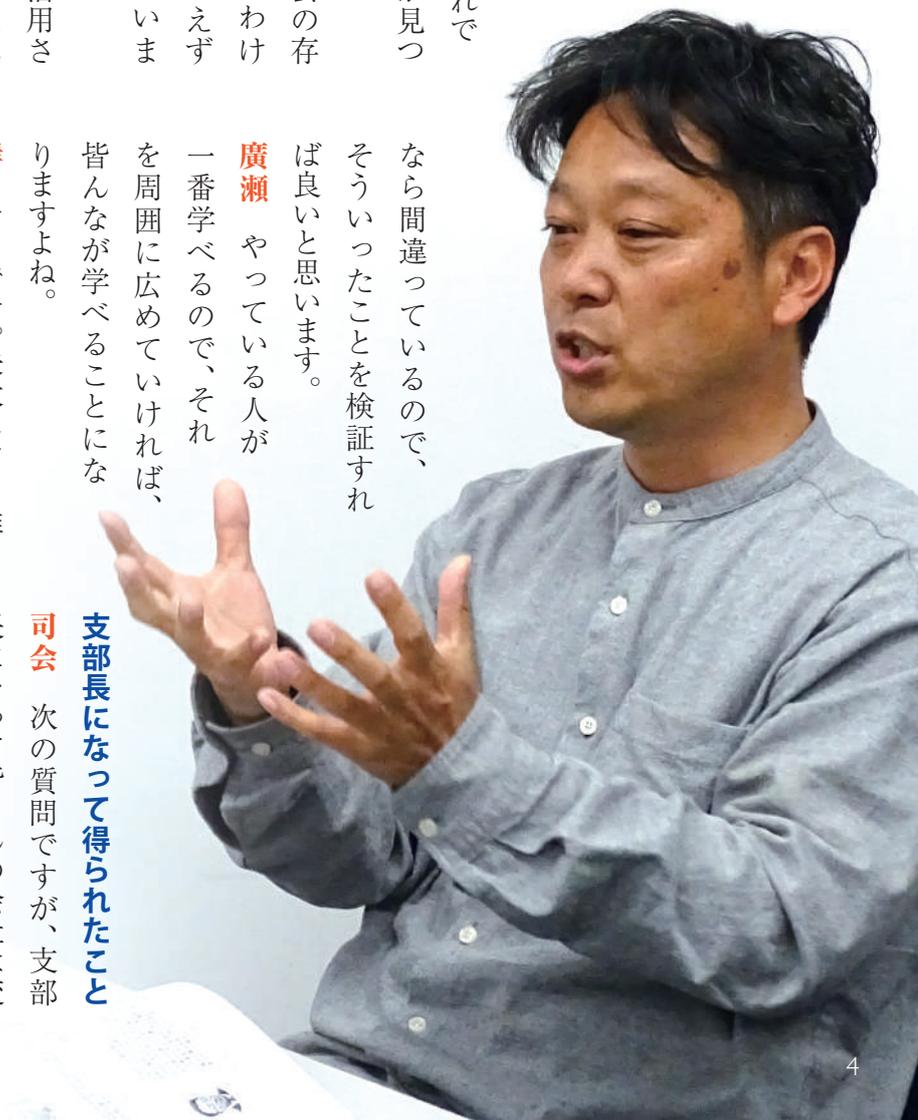
岸 そうです。失敗しても誰も何も言わないですよ。

支部長になって得られたこと

司会 次の質問ですが、支部長になって皆さんの会社は変わりましたか？

谷本 支部長になってというよりも、入会してのほうが大きいですね。入会してなかったら廣瀬さんや岸さんと出会うことはありませんでした。

出会って、その人から学べたことが確実に自分の気づきになりました。それまで父親や兄のやり方以外見ることが





なかったもので、それは驚きでした。例会づくりでもこういうことをしたら、うちの会社でもイベントができるんじゃないかと、たくさんの成長がありました。

廣瀬 普段はあまり触れ合いがない人でも、例会では報告やグループ討論で話を聞いたり話をしたりする機会がたっぷりあります。その変わりに、自分も話をしなければならぬので適度な緊張感がありました。それに経営体験を聞くと自分の会社に置き換えやすいので、そういう意味で自分の会社に生かすことがたくさんありました。

岸 支部長だからではなく、同友会で同じ課題、同じ悩みを持つている人と出会ったのは大きいですね。同友会に対する関わり方で結果は違うように思います。

司会 支部長や役員をやらせてもらった人間が、今ここで駄目になってしまいうわけにはいかないと、そんな励みにもなるでしょうから、そういう人との繋がりは同友会でしか得られないものではないかと受け止めています。

廣瀬 支部長になって得られたことは、自分の会社よりも大きな規

模の会社のことを知ることができたことです。また、会社の組織を動かすことが体験できました。

谷本 私の場合は、兄が社長なので会社では二番手ですが、同友会ではトップができる疑似体験を経験することができました。その経験があったか

らこそ、よい二番手になれたような気がします。

司会 ありがとうございます。こういう時代だからこそ、人と人の繋がりが大切であり、またその為の深い学びや関係づくりについて、改めて見直すことの必要性を感じました。貴重なご意見をありがとうございました。

